

須賀川市立小中一貫教育校「稲田学園」令和2年度学園だより

# とう 雲 第21号

令和3年2月12日発行

発行者：校長 小貴 崇高



## ○立志式を挙行～中期ブロックから後期ブロックへ～



2月4日（木）、7年生の「立志式」を行いました。立志式とは、武士の時代に元服にちなんで数え年の15歳を祝う行事で、将来の決意や目標などを明らかにすることで大人になる自覚を深めたそうです。稲田学園では、その年の4月から後期ブロック（8・9年生）となる7年生を対象に立志式を実施してきました。本校では、大きな節目の儀式です。

校長から立志証書を手渡され、一人一人がこれからなりたい自分の姿や目標とする大人の姿などについてしっかり決意を表明しました。また、昨年度の3月、臨時休業中の期間に小学校卒業直前に鑑賞する予定だった6年間を振り返る映像を保護者の皆さまと鑑賞しました。現在の成長した7年生の姿を改めて実感することができました。



## ○新入学児童保護者説明会～義務教育学校最初の入学児童に～



2月5日（金）、稲雲ホールで新入学児童保護者の皆様を対象とした説明会を開催しました。はじめに、校長より稲田学園の教育方針や教育活動、家庭と学校が連携して子どもたちを育てていくことの大切さなどについて説明させていただきました。その後、各担当から入学前の準備や心構えについてお話しさせていただきました。特に今回の入学児童は、本校が義務教育学校となって最初の入学児童となります。

新入学児童の保護者の皆様、入学までの準備等、どうぞよろしくお願いいたします。

## ○豆まき集会で鬼滅～自分の心にいる鬼を退治しよう～

2月2日（火）、いつもの年より1日早い節分の日、稲田学園では稲雲ホールに1～6年生が集まり、「豆まき集会」を開きました。

保健委員会の児童たちによる進行で、まず節分はどんな日なのか説明しました。次に、先生や児童の代表から自分が退治したい鬼を発表しました。



そして、今年はウイルス感染防止の観点から、各教室を6年生が訪問し、豆まきの代わりに豆の入った紅白玉（運動会の玉入れに使用するもの）を投げる方式にしました。各教室からは、「鬼は外、福は内」という声が聞こえてきました。それぞれの児童が退治したい鬼（心の中の甘えや邪心）を退治して、穏やかな春が迎えられることを願います。



## ○義務教育学校に向けて～横断幕設置と心温まる掲示物～



4月から須賀川市内初の9年制義務教育学校へと移行する稲田学園をアピールし盛り上げるため、校門近くに横断幕を掲げました。「輝け 稲田っ子 学園を彩る華となれ!」というキャッチコピーは、子どもたちが選んだ言葉です。また、「9年間の学び、9年間の一体感、そして9年間の感動を創造する学校」という言葉も付け加えました。地域とともに学園を彩る華である子どもたちを大切に、感動と一体感のある学校を目指していきます。よろしくお願いします。

ところで、受験シーズンまっただ中の9年生に対する後輩7・8年生の応援メッセージが昇降口前に掲示された数日後、それを見た5・6年生が、「自分たちも9年生を応援したい!」「いつも優しくしてくれる9年生にがんばってほしい」といった声があがり、5・6年生の激励の応援のメッセージが昇降口前に掲示されています。9つの学年の子どもたちが一緒に生活する稲田学園の良さがここに現れていると思います。



## ○部活動再開しました～まだまだコロナとの戦いは続きます～

国の緊急事態宣言や県内の感染状況をふまえ、須賀川市内の中学校では2月7日(日)まで部活動を中止していましたが、2月8日(月)から部活動を再開することができました。

本校でもそれぞれの部で、生徒たちは久しぶりに活動できる喜びを感じながら、真剣に練習に励んでいました。引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、充実した活動ができるよう各部で工夫していきます。ただし、2月10日から15日は、期末テスト前の部活動休止期間となります。



なお、感染防止のため、他校生との交流が伴う練習試合や合同練習、協会等の大会などの校外の活動については当面の間、引き続き停止していますのでご理解とご協力をお願いします。

### ★ことばのちから(21) 「かっこいい」って何だ?

立志式に参加して「7年生、かっこいいな～」と本気で思ったのですが、「かっこいい」という言葉で、あるストーリーを思い出しました。

ある町の成人式でのこと。一人の若者がクロネコヤマトの仕事着のまま会場に入ってきた。受付の人が聞くと、「休むとお客さんに荷物を届けられなくなるから仕事の合間に立ち寄った」とのこと。式典が終わると急いで立ち去ろうとするその若者に、受付の人はこれから記念写真の撮影があると伝えた。すると若者は「こんな格好だから…」と辞退しようとしたという。受付の人はすかさずこう言ったそうだ。「何言ってるのよ!あなたが一番かっこいいですよ」。

私は、この仕事着の若者も「かっこいい」と思うけど、この受付の人も「かっこいい」人だなと思ったのでした。